



伸びよう阿曾っ子



5月品格目標：責任

みんなでつくった運動会

朝5:00、雨は止んだもののあちらこちらで見られる水たまりやぬかるみ。「まずは子ども達が走る場所から」と、できるところからスポンジで水抜きを始め、しばらくすると付近にお住いの方が応援に入ってくださいました。ところが、水を吸い取っても吸い取ってもグラウンドのぬかるみは一向によくなりません。「ここだけは大丈夫だろう」と水たまり防止のために敷いていたブルーシートをはぐってみると、そこも同じようにぬかるみがひどかったため、開会時刻を1時間遅らせることに決定しました。

悪戦苦闘して約1時間30分後、学校からの SOS すぐーる配信を見た保護者の皆さんが次々に来校され、「ぬかるみはトンボでかき出した方が早い」「砂を入れてならしていこう」「砂場の砂は私が猫車に入れますから大丈夫」「とんぼを広場から持って来ましょうか」「先生方は他にできることをやってください」「火曜日に延期になってしまうとみんな子ども達を見に来ることができませんから」等々、学校側から発しなればならないお願いや励ましの言葉を保護者や地域の方々からいただき、みるみるグラウンドの状態がよくなっていきました。「これならなんとかかなりそうだ」と思った頃、登校してきた子ども達の声が聞こえ、ふと見るとそこには、登校してきた子ども達に明るく温かいあいさつをしてくださる地域の方の姿。後に聞くと「来校される保護者の車が多いと正門付近が危険かと思って来ました」とのこと。

そして、無事に運動会を終えることができ、閉会後は当たり前のように黙々と片付けを手伝ってくださった、たくさんの方々。「分館のテントを運ぶのに軽トラックをとってきます」「グラウンドの整備は、用事があるからしばらくはできなくてすみません」と言ってくださる付近にお住いの方のありがたい言葉。子ども達が考えたスローガン「全力・協力・団結力」は、子ども達だけでなく、保護者・地域・教職員のスローガンでもあったのだなあと胸が熱くなりました。

学校だけではとても太刀打ちできなかった状況を救ってくださった皆さん、ほんとうにありがとうございました。また、毎日子ども達に十分なお茶を持たせていただき、お子さんを元気に学校に送り出してくださった保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。

